



水いぼ

どうしましょ？



水いぼはうつります



水いぼは皮膚で
増殖するウイルス
の感染症です。

ひっかいたり、つぶしたりすると
中のウイルスが飛び出すので、
からだの他の場所や他の子に
うつってしまいます



登園OK 登校OK

小さな子ども（幼児くらい）がよくかかります。うつる病気ですが、水いぼのために保育園や幼稚園、学校を**休む必要はありません**。

水いぼの中の液が散ったり、肌が触れ合うことでうつります。逆にそれほど接触がなければうつりません。





プールはOK

プールの水ではうつり
ません。入っても問題あ
りません。



ただし、**体とこすれるもの**（タオル・ビート板・浮き輪など）を他の子と一緒に使うのは避けましょう。

ラッシュガードなどで水いぼの部分^①が直接触れないような工夫もいいですね。





治療法は？

- 自然治癒を待つ
- 摘除する
- 内服薬（漢方薬）
- 外用薬（塗り薬）

自然治癒を待つ

放っておいても自然に治ることがありますが、**かなり長期間かかります。**

半年以上かけて徐々に増え、治るまでにさらに半年。**1-2年で治ることを期待**しますが、**アトピー性皮膚炎などがあるとさらに長期化。数年かかることも。**

治る途中で痒くなる時期があるので、かきむしってさらに広がってしまうことが課題です。





摘除する



ピンセットで取り除きます。**確実に治る方法**ですが、取る時の**強い痛みが問題**です。事前に**麻酔薬のシールを貼ることで痛みをやわらげる**ことはできます。

確実ですが、子どもたちにはツライ方法です。特に数が多い子にはツライです。顔などできない、しにくい場所もあります。



先が特殊な形のピンセットです

漢方薬（ヨクイニン）



昔ながらの方法です。

麦茶などのハトムギの成分**ヨクイニン**を使用します。**有効性は・・・高くない**印象です。もともと治るのに長期間かかるので、ヨクイニン自体が効いているのか、自然経過で治っているのかよくわかりません。

皮膚科は摘除を、小児科は内服薬や自然経過を選択することが多い印象です。

といっても、毎日飲むのも子どもたちにとってはイヤなことかも。



外用薬（塗り薬）

いろいろな塗り薬がありますが、**早く・確実に治す方法はありません**。しかも、どれも保険適応がないので、**自費**での対応になります。**数ヶ月時間はかかってでも、苦痛のない方法で**、という方にはいいと思います。



まとめ

今回は、シーズンの多い水いぼについてご紹介いたしました。**摘除が有効**なのは承知の上で、強い痛みを伴う処置のため当院では**無治療や内服薬をお勧め**してきました。でも、保育園・幼稚園などでの治療の要望が高いのも確かです。そこで、当院ではこれからは**外用薬（塗り薬）をお勧め**しようと思えます。外用薬と内服薬を併用した場合に治療効果が高まるのか？は気になるところです。今後検討していきたいと思えます。まずは一度ご相談ください。

最後まで見ていただきありがとうございました

